

項番	項目	ご意見	回答又は西区の考え方
1	令和5年度 運営方針 経営課題 1-(1)	今後も増えてくるマンションの住民に対して地域活動の案内や周知をどのようにしていくかを検討する必要がある。例えばマンションの新築時や初めての管理組合の会合で町会や区役所の活動をアピールする為の機会を積極的に行ってはどうか？ 活動の内容については防災、防犯、区主催のイベント等の案内。	・新築マンションにつきましては、地域と協働し事業主等への町会加入促進に向けた啓発・協力要請を行っております。一方、既存のマンションについてはアンケート調査を行い、町会加入にむけたきっかけづくりとして、防災講座・子育て・高齢者向け事業等を実施しながらマンションコミュニティづくり・活性化支援を行っております。 ・是非町会長のみなさまにも出席をご案内し、協働を進めてまいりたいと考えております。
2	令和5年度 運営方針 経営課題 1-(1)	(地域コミュニティは)ある程度活性化していると感じています。 年配者には敬老の案内や様々な行事を案内することにより活性化していると思われる。 若い人たちや若い世帯の方々にはいま一つ物足りなさを感じる。 連合や区の行事を徹底してアピール(チラシなどの配布)してはどうか？	・地域コミュニティ活性化の取り組みとして、広報は極めて重要な要素と考えております。広報紙等従来の手法に加え、SNSの活用等新たな活動も行っていく考えです。 ・また、実際には活発に活動いただいている若手世代もおられます。こういった若手世代の活動を後押しし、世代間交流を促すことも課題として取組を検討してまいります。
3	令和5年度 運営方針 経営課題 1-(1)	・地域コミュニティは年齢や属性によって分断されており、各集団内で活性化しているものと、急激に衰退しているものに分かれていると感じている。 ・小学校低学年までの子どもがいる家族の集団は活性化しており、西区全体の大きなイベントへの参加も多く活発だが、町会単位のイベントには参加していない。 ・高齢者でない単身世帯や子どもが巣立った夫婦二人の世帯、一部の高齢者を除く多数の高齢者の地域コミュニティは、衰退していると感じている。	・西区では、区民相互の連帯感とコミュニティの輪を広げることをめざし、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に参加でき楽しんでいただけるよう区民まつりをはじめ様々なイベントを実施しています。また運営にあたっては、区民並びに市民活動団体、ボランティア等が参画する仕組みづくりを構築して多様な活動主体による運営となるよう努めているところです。 ・各層が楽しめ、世代間交流も促せるイベントの必要性は強く感じています。区民まつり、にしくバル等企画しておりますので、ご参加のうえ、これらの事業に対するご意見を頂戴したいと考えます。
4	令和5年度 運営方針 経営課題 1-(1)	・町会加入促進キャンペーンは、具体的にどのような層を対象としているのか。	・町会加入促進の取り組みについては、イベント等での声掛け、啓発品の配布、ご紹介等を実施しています。層としては各種イベントが多い子育て層が多いですが、あらゆる世代を対象に取組む考えです。
5	令和5年度 運営方針 経営課題 1-(1)	・西区は地域活動が活発な町なので、イベントも多く、体感として地域活動は活性化していると感じる。ただ、地域活動協議会と町会の違いなど、分かりづらい点も多く、地域活動協議会という言葉の認知度は低いのではないかなと思う。 ・また、地域の中心で長年活動しておられる世代と、新たな転入者という異なる世代をつなぐパイプ役となる人材や、つながれる場が重要になってくると感じる。	・地域活動協議会(おおむね小学校区を範囲とした、様々な団体の集合組織。自律的な地域運営を行う)に対しましては区役所及びまちづくりセンターが連携して様々な支援を行っております。その一環として、まず各地域活動協議会の活動を知って頂き、長年活動をしている方と新たな住民の交流が進むように区役所やまちづくりセンターによる広報内容や方法の改善をはかりながら、地域活動協議会及び地域活動の認知度の向上等に努めてまいります。 ・パイプ役創出について、現在は区役所もその役割の一部を担っておりますが、世代間交流がより活発になるよう努めてまいります。
6	令和5年度 運営方針 経営課題 1-(1)	・たくさんの根強い町会やお祭りなど地域交流はあり、それには参加しているが、町会メンバー加入には意識がいかない。 ・昔々のしきたりやルールを重鎮が守っているイメージ。いずれ次世代に引き継いでいくには、もっと今の世代との交流と変化への柔軟さが必要かなと思う。 ・町会に加入したところで、すでにあるものを受けさせていただくような感じで、お手伝いしたい気持ちや、もっとこうしたらいいのというアイデアがあっても伝える術がない。関わる窓口がないように感じる。	・地域イベントへの参加層を町会加入や運営等につなげていくには、町会活動の重要性や有用性について実感していただくことが必要であると考えています。イベント参加者が運営に関わっていただけるような工夫を町会の方々と一緒に考えてまいります。
7	令和5年度 運営方針 経営課題 1-(2)	・つどいの広場の拡充やこども向けの防災イベント等で、子育て支援関連での取り組みが少しずつすそ野を広げている様な感覚がある。子ども関連は情報発信と継続的な事業開催がある一定の効果を出しており少しずつ進んできているのではないかと感じている。 ・地活協については現役世代(20～60代)の方たちの認識度・理解度が乏しい状況だと見受けられる。原因の一つとして地活協のメンバーに若手が少ないことも考えられる。地活協の周知・理解度を高めるには若手メンバーがフォローアップ・参画できる体制をつくり、若手層に情報を提供していく働きかけが必要ではないかと考える。	・地域活動協議会(おおむね小学校区を範囲とした、様々な団体の集合組織。自律的な地域運営を行う)は、地域振興会、防犯協会、子ども会等様々な地域団体の力を結集する基盤組織として大変重要な仕組みと考えており、町会活動の周知に併せて、認知度向上に努めてまいります。
8	令和5年度 運営方針 経営課題 1-(2)	・昨年度からの参加で、まだ、区政会議そのものがどういったものかが理解できていないが、経験を生かした意見が出せればと感じている。 ・今年は、西区14連合同防災訓練が実施された。効果のほどはわからないが、毎年行っていただきたい。	・6/9に開催した「西区全地域合同防災訓練」は、区役所をはじめ関係機関の協力のもと、西区地域振興会が主催したものです。 ・第一部として、各地域の自主防災組織が災害対策本部を立ち上げ、区役所の災害対策本部と連携して通信訓練などを実施しました。また、第二部として、松島野球場で消防や警察をはじめ自衛隊などの協力を得て体験参加型訓練を実施し、多くの区民の方々の参加を得たところです。 ・次年度につきましても、西区の防災力の向上に向け、継続した地域での防災訓練が実施できるよう、区役所として支援してまいります。

項番	項目	ご意見	回答又は西区の考え方
9	令和5年度 運営方針 経営課題 2-(1)	・安心して子育てができる環境が整っているとの回答が5年度95.6%、4年度は100%という数値は、素晴らしい結果と感じた。 ・こどもまんなか社会の実現に向けて、大人の意見に加えて、当事者であるこどもの視点にたち、子どもから見た地域の環境、学校の環境が安心して過ごせるかどうかを確認することができればより良いと感じた。 ・そのことにより、子ども時代から西区に誇りを持ち、このまちでを育っていく人が増えていくのではないかと考える。	・「こどもの視点」はとても重要なポイントと認識しております。西区将来ビジョンにおいても、まずは、「子どもを育てる保護者が安心して育てられる状態」をめざすこととしており、保護者を通して子どもの視点からの課題把握に努めているところです。 ・なお、各小中学校においては児童生徒対象に学校での教育活動に関すること、生活状況に関することなどのアンケートを取っており、アンケート結果を学校運営に反映させているとともに、その結果については学校協議会の場を通じて区役所としても把握に努めています。
10	令和5年度 運営方針 経営課題 2-(1)	・小5、小2の母だが、小学校の学習内容、宿題の内容が時代に合っていないと感じる。 ・小学校のアンケートにも毎回記入しているが、アクティブラーニング、探求型学習、STEM教育の実施、ネットワーク、セキュリティ内容の改善をお願いしたい。 ・PC配布は完了しているが、生徒一人一人が使いこなせていない、また学校の先生もITを使いこなせていないと感じる。(紙が多すぎるので、もっとテクノロジーを活用して欲しい。)	・大阪市は令和7年度末までに取り組む内容を教育振興基本計画として策定しており、その中で、ご指摘の内容に関して、「主体的・対話的で深い学び」や「文理融合的な内容を含む総合的読解力育成カリキュラムの開発」に取り組むとともに、子ども・教職員のネットワーク環境の改善を図ってきたところです。 ・子どもへの学習者用端末(タブレット端末)につきましても、本市目標である1日1回以上は活用するとともに、子どもたちの使用による肯定的回答割合がさらに向上するよう、教員支援について関係局に働きかけてまいります。
11	令和5年度 運営方針 経営課題 3-(1)	・私の居住するマンションでは、エントランスに広報紙「かぜ」が月初に配布され、住民が自由に受け取れるが、当初は8割ほどが月中に無くなっていたのに、ここ3年ほどは月末に8割ほどが残ったまま回収されている。 ・これは紙媒体だから見ないのではなく、住民の中で「西区行政」に興味を持つ人が急激に減っているのではないかと思っている。 ・ちなみに、当マンション町会の加入率は25%ほどで、その内訳は99%が60歳以上である。	・他所では毎月「かぜ」をお取りいただいている所も多いと考えておりますが、一部でそのような状況になっていることについては認識を改めたいと思います。ご指摘の状況で考えられる原因としては、①区政に興味を持つ人が減った②コロナ禍により紙媒体に手を触れることへの抵抗感が高まったため、ホームページで広報紙を読む人が増えた③8割も減っているので送付部数を増やすようにマンションが要望した結果余る量が増えた、等が考えられます。 ・また、ご高齢の方から「もう少し文字を大きくしてくれないと読みづらい」というご意見もいただいているため、改善を検討しているところです。 ・いずれにしても、多くの方に広報紙を手にとっていただけるように紙面デザインの改善等も含め、魅力ある広報紙作成に努めるとともに、配架方法、広報方法の検証を行ってまいります。
12	自由意見	・区政会議に参加したことによって、区政や、区役所で働く皆さんとの距離が縮まり、西区がより良い町になるよう活動してくださっていることがよく分かるようになった。 ・実際に住む人それぞれの年代や属性によってもニーズは異なるので、アンケート結果の奥にある生の声を拾っていき、対話を重ねることが結果的に市民に寄り添った区政につながると思う。	・区役所では、窓口、お電話、メールに加え、区長をはじめとして職員が地域に伺いご意見をいただいております。当然区政会議も貴重な場と認識しております。 ・会議でいただいたご意見を踏まえ、区政をよりよいものに改善してまいります。